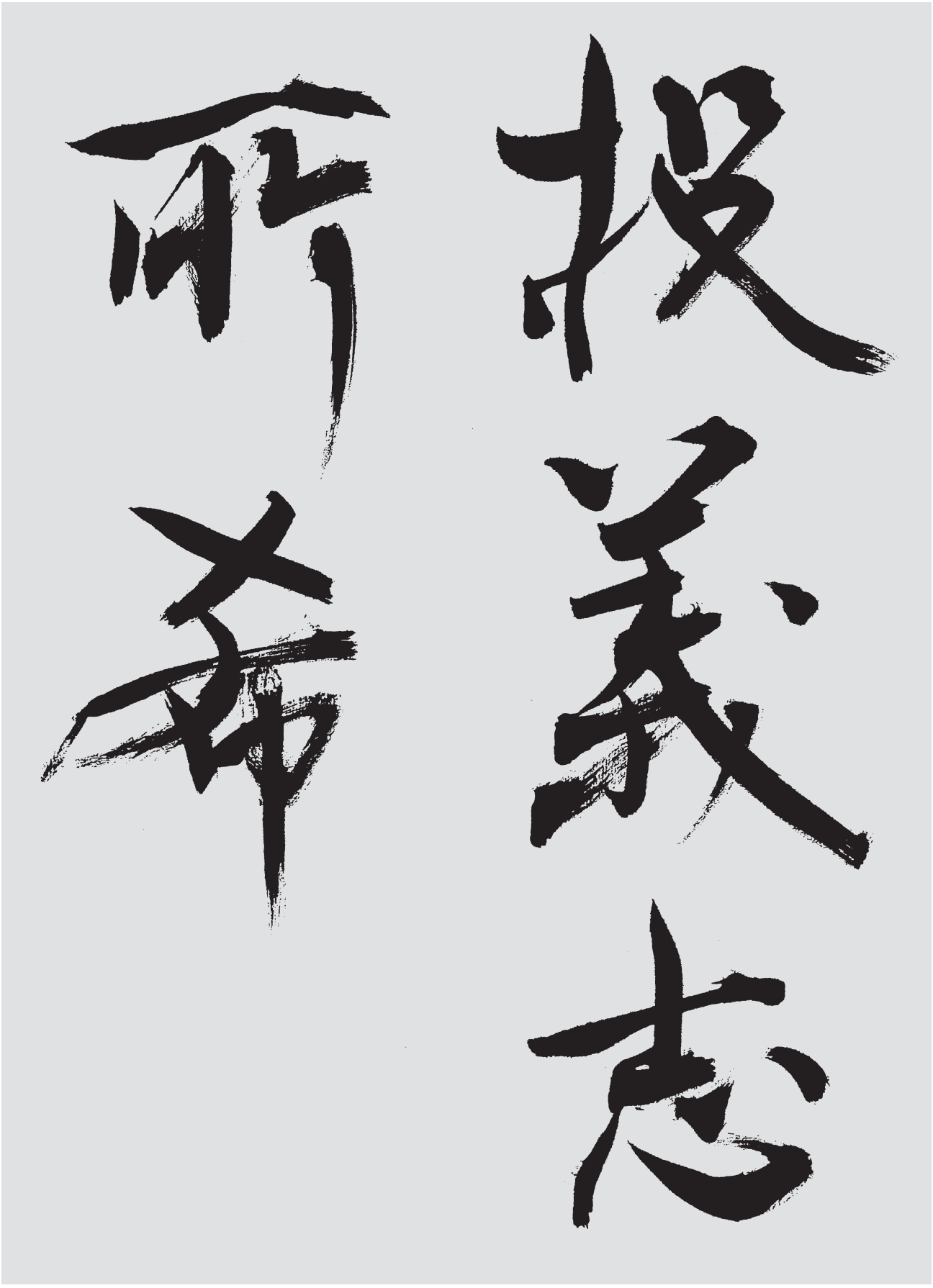
参　考　手　本



義に投ずる志の希う所

高木聖雨先生

※これは規定課題ではありません。

参　考　手　本

義に投ずる志の希う所

高木聖雨先生

※これは規定課題ではありません。

条幅規定

A部（準五段以上）
B部（四段～準三段）

道因法師碑（唐・欧陽　通）

基窈窕陵空徘徊罩景松吟竹嘯共寶鐸以諧

C部（二段以下）

集字聖教序（東晋・王羲之）

鑾無滅無生歷千劫而不古若隱若顯運百

浮乗清郷先生

条幅かな

ひさかたの雲のあなたに住む人は常にさやけき月を見るらむ（良寛）

久可多濃奈多ニ無日と八つ年ニ沙个越み

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（9月10日締切）

半　紙　規　定　(一)

曹全碑（漢・作者不詳）

養季祖母供

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

・・・　・　・

季祖母を収養し、継母を供事するに

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

（９月10日締切）

半　紙　規　定　(二)

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隷書　〔一級以下〕楷書

九成宮醴泉銘（唐・欧陽詢）

永保貞吉兼

・・・・・

永く貞吉を保たん。兼（太子率更令）

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

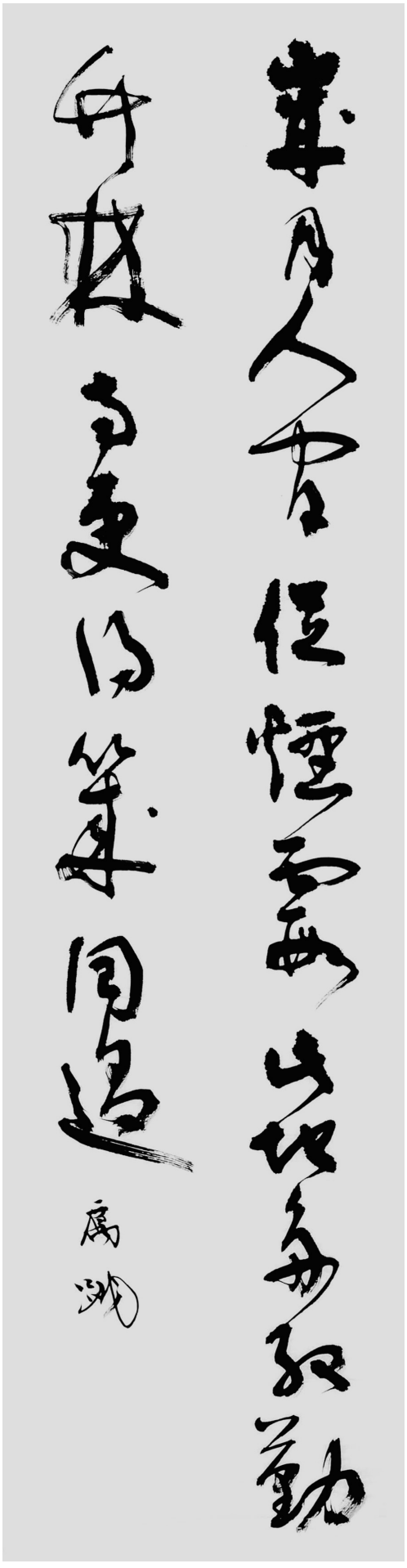
（９月10日締切）

条幅参考手本

對酒不覺瞑　落花盈我衣　醉起歩溪月　鳥還人亦稀

酒に対して瞑るるを覚えず　落花我が衣に盈つ　酔より起きて渓月に歩めば　鳥還って人も亦た稀なり

田中奎堂先生



歳月人間促　烟霞此地多　殷勤竹林寺　更得幾回過

歳月人間に促し　烟霞此の地に多し　殷勤す竹林寺　更に幾回か過るを得ん

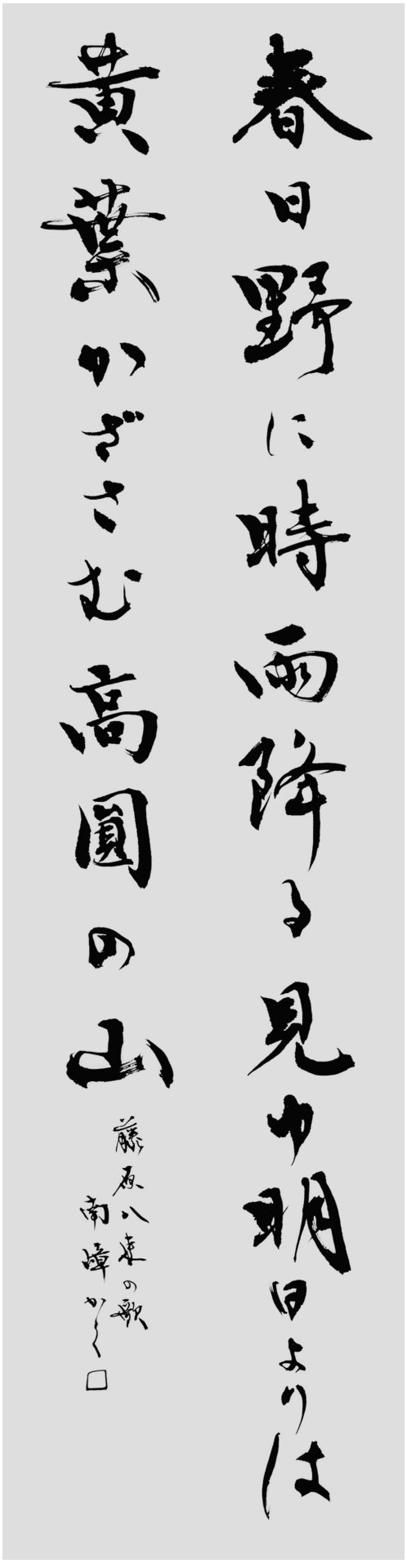
板垣厲跳先生

条幅参考手本

青木昇堂先生

南館城陰闊　東湖水氣多　直須臺上看　始奈月明何

南館城陰闊く　東湖水氣多し　直に須らく臺上より看るべし　始めに月明を奈何



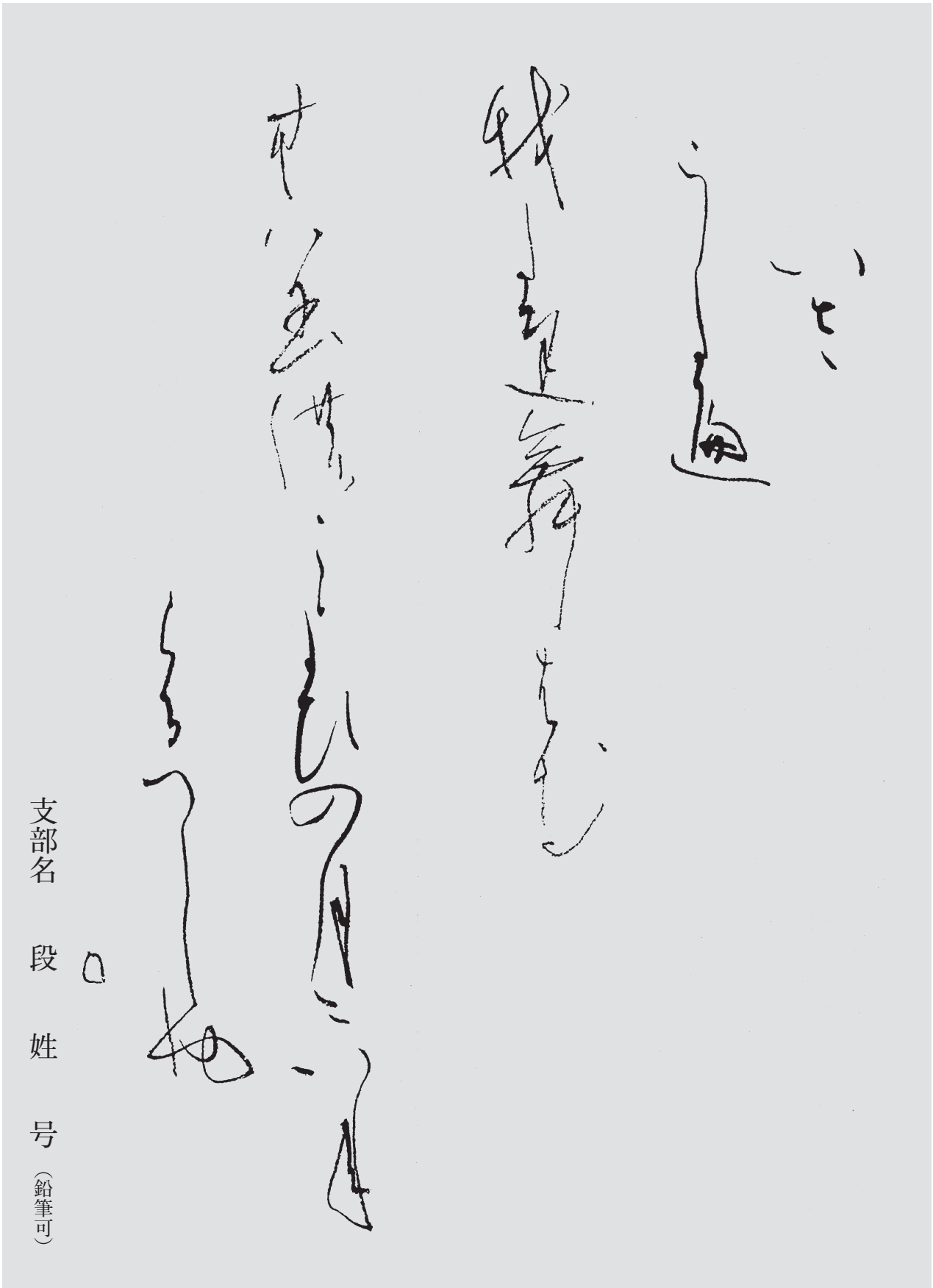
渡邊南嶂先生

春日野に時雨降る見ゆ明日よりは黄葉かざさむ高圓の山

半紙かな（初段以上）

いざ歌（うた）へ我立（われた）ち舞（ま）はむむば玉（たま）のこよひの月（つき）にいねらるべしや（良寛）

（う多遍　多遅者　無八濃　二年）



支部名　段　姓　号（鉛筆可）

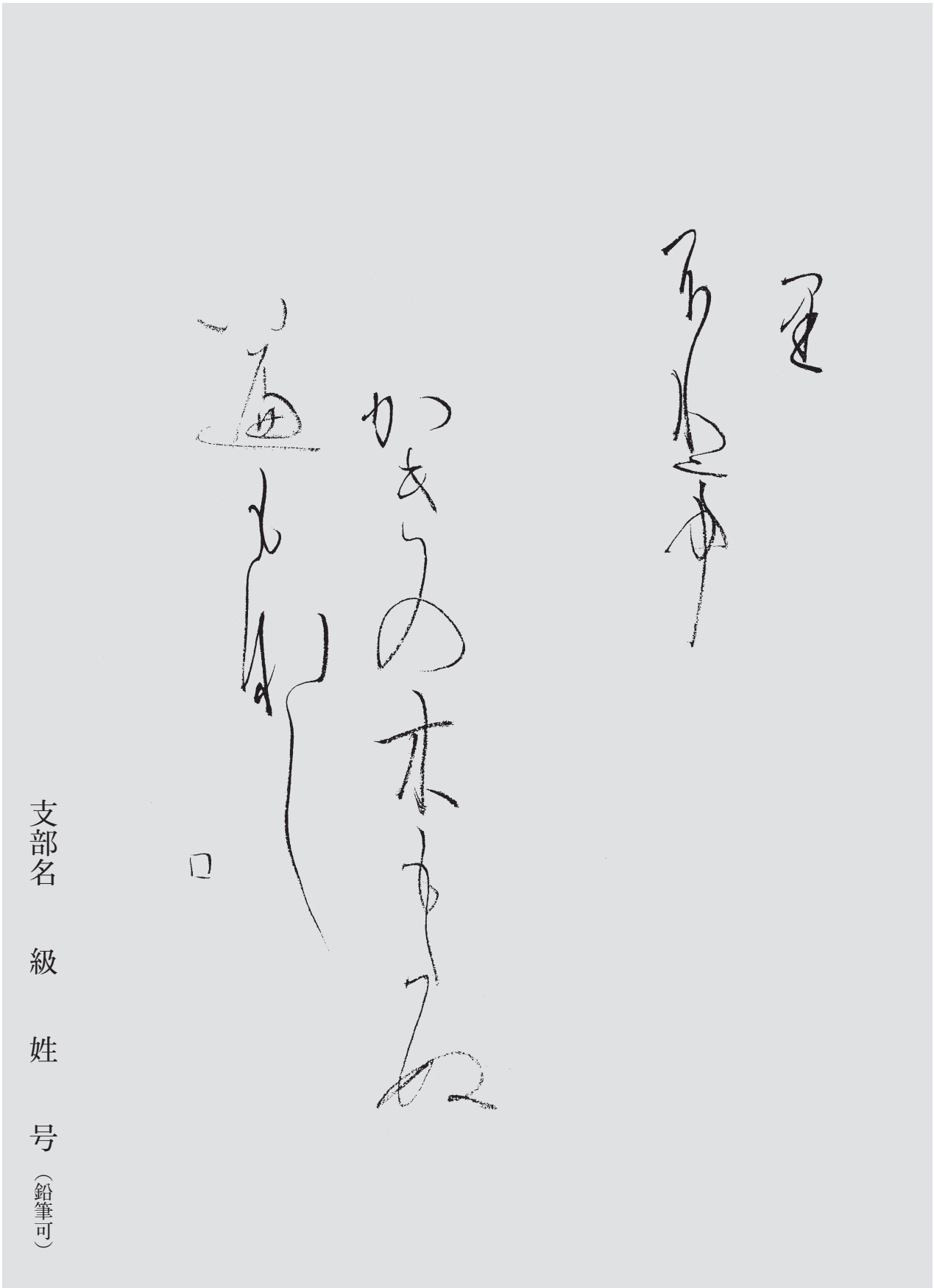
※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

浮乗清郷先生

（９月10日締切）

半紙かな（１級～８級）

里ふりて柿の木もたぬ家もなし（松尾芭蕉）
不利帝　多い遍那



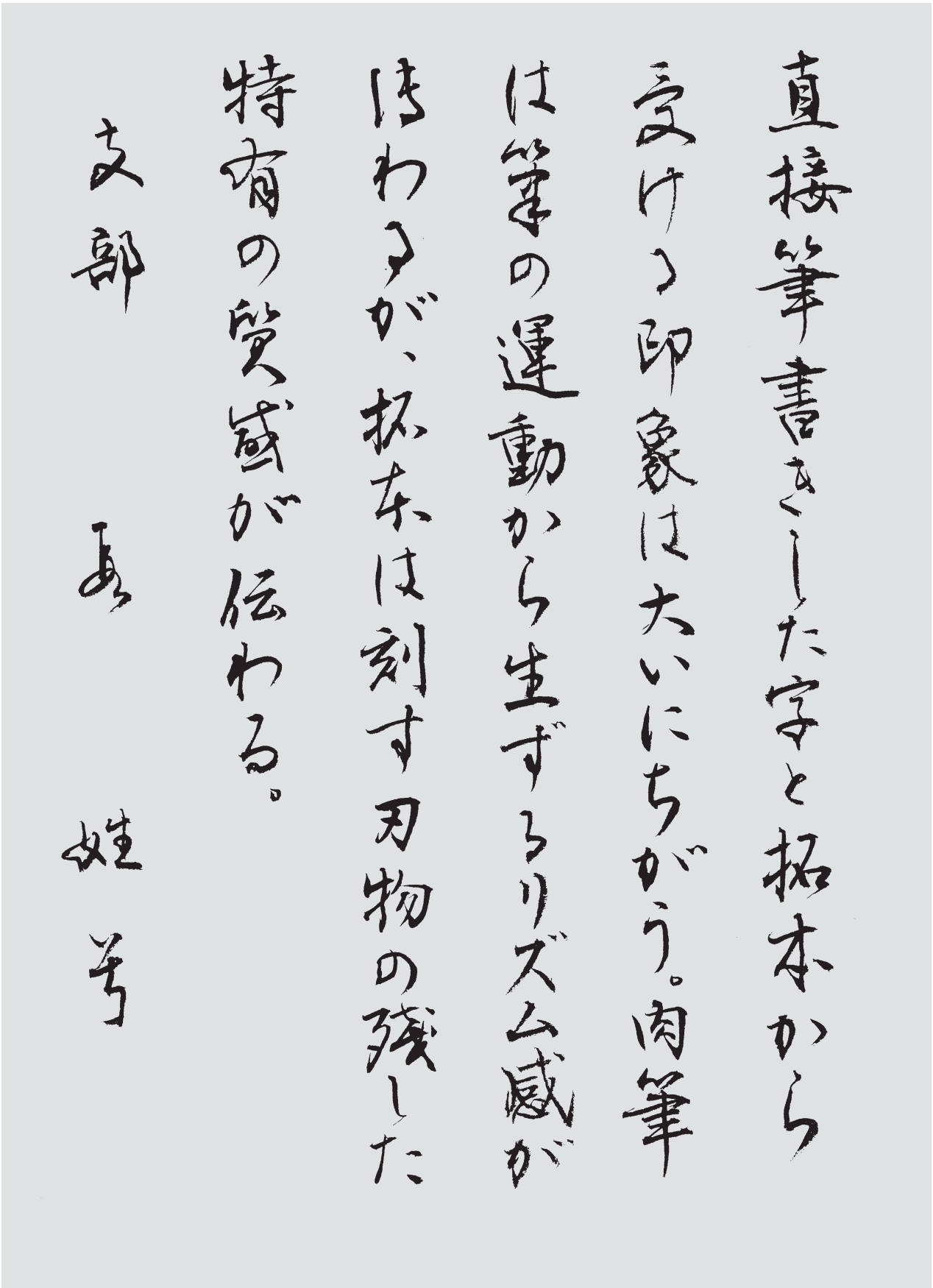
支部名　級　姓　号（鉛筆可）

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

若月久美子　先生

（９月10日締切）

実用文（準三段以上）



〈書風任意〉拓本から受ける…　肉筆は筆の……リズム感が伝わる……特有の質感が……

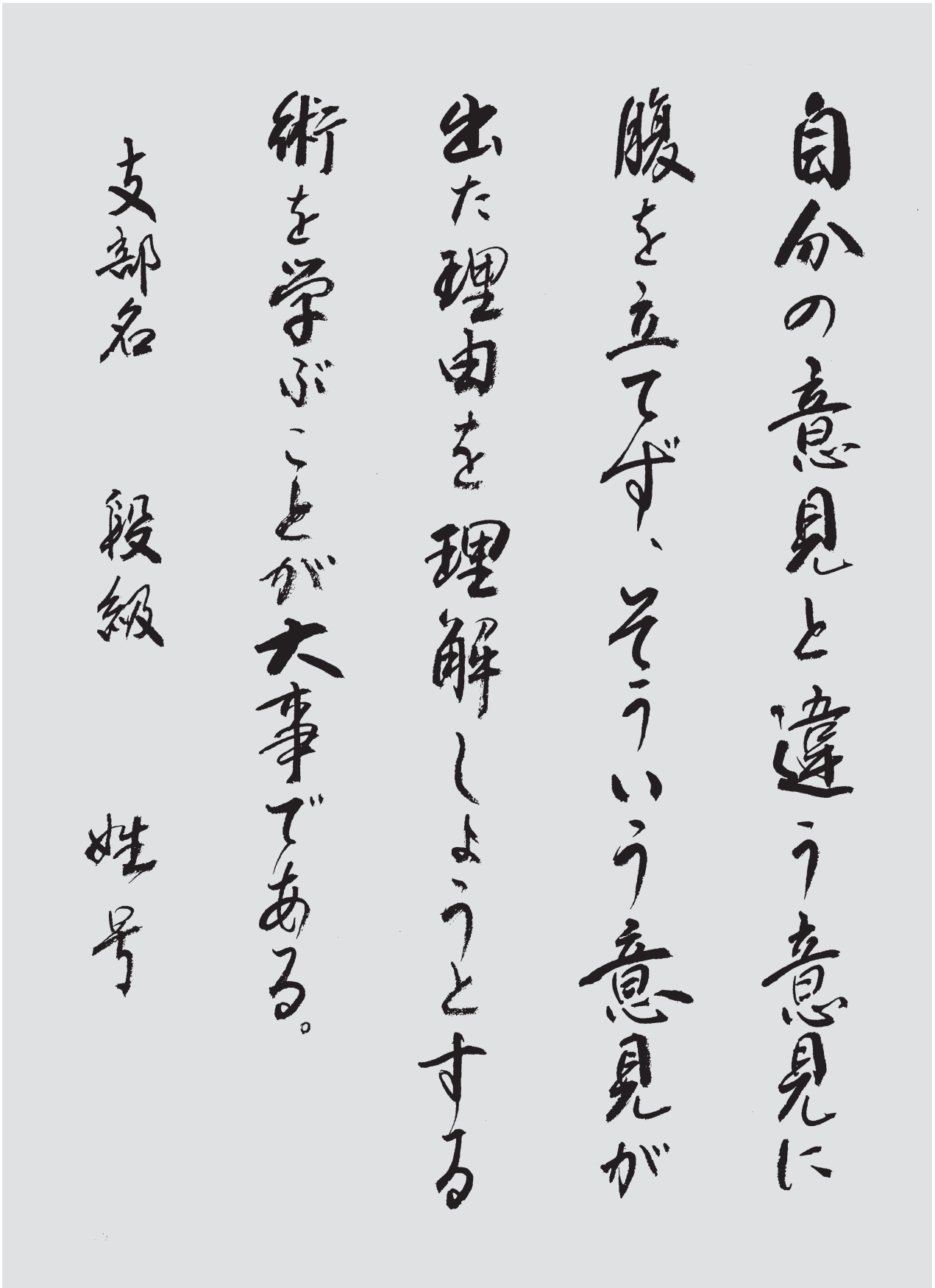
成瀬映山「書作のみちくさ」より

主幹　菅野翠濤

（9月10日締切）

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

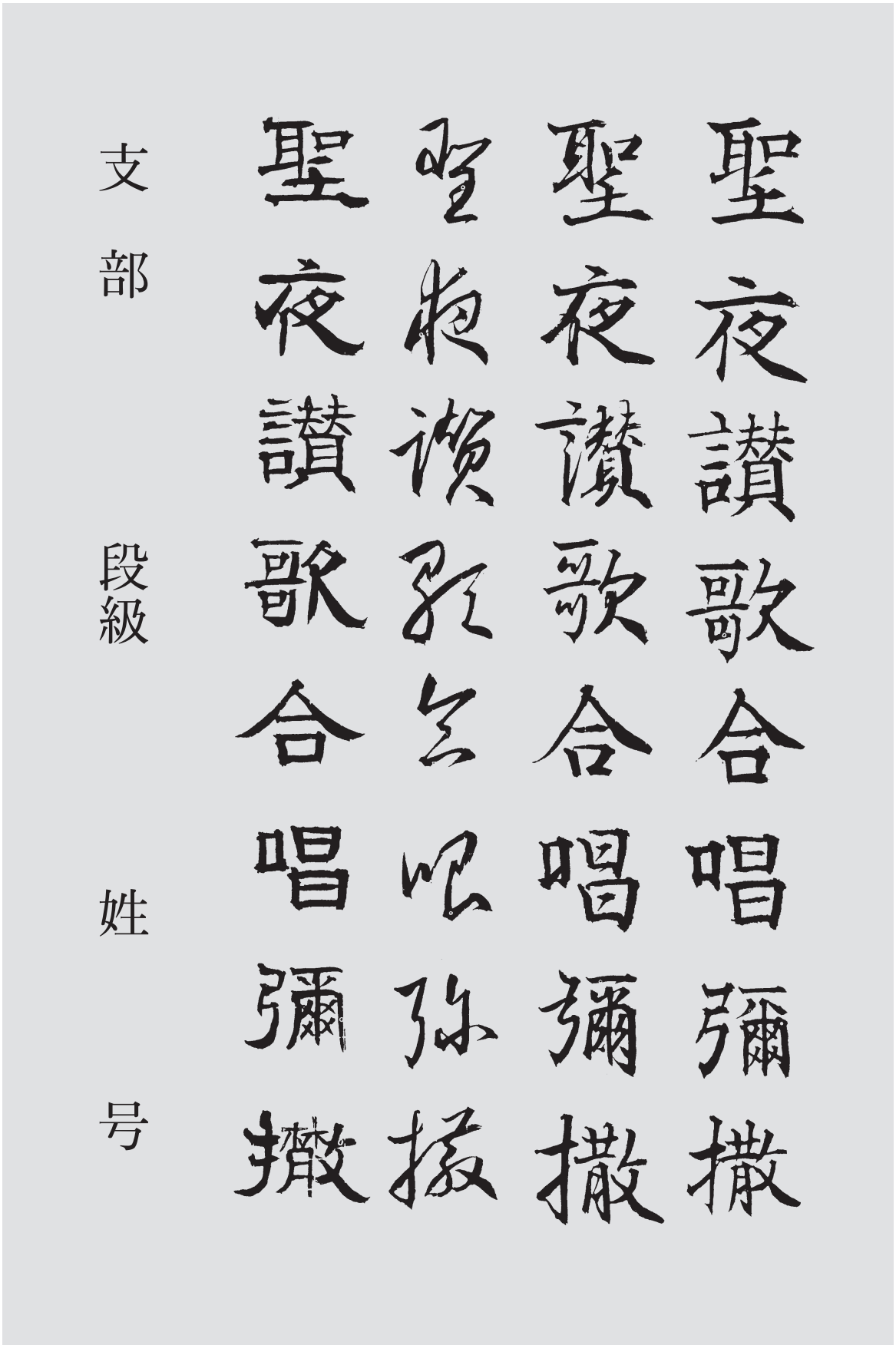


和泉千泉先生

（9月10日締切）

細　　字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より
P94



※一級～八級は草書まで。　初段以上は隷書まで。

弥撒（みさ）　カトリック教会で晩餐式を行う。

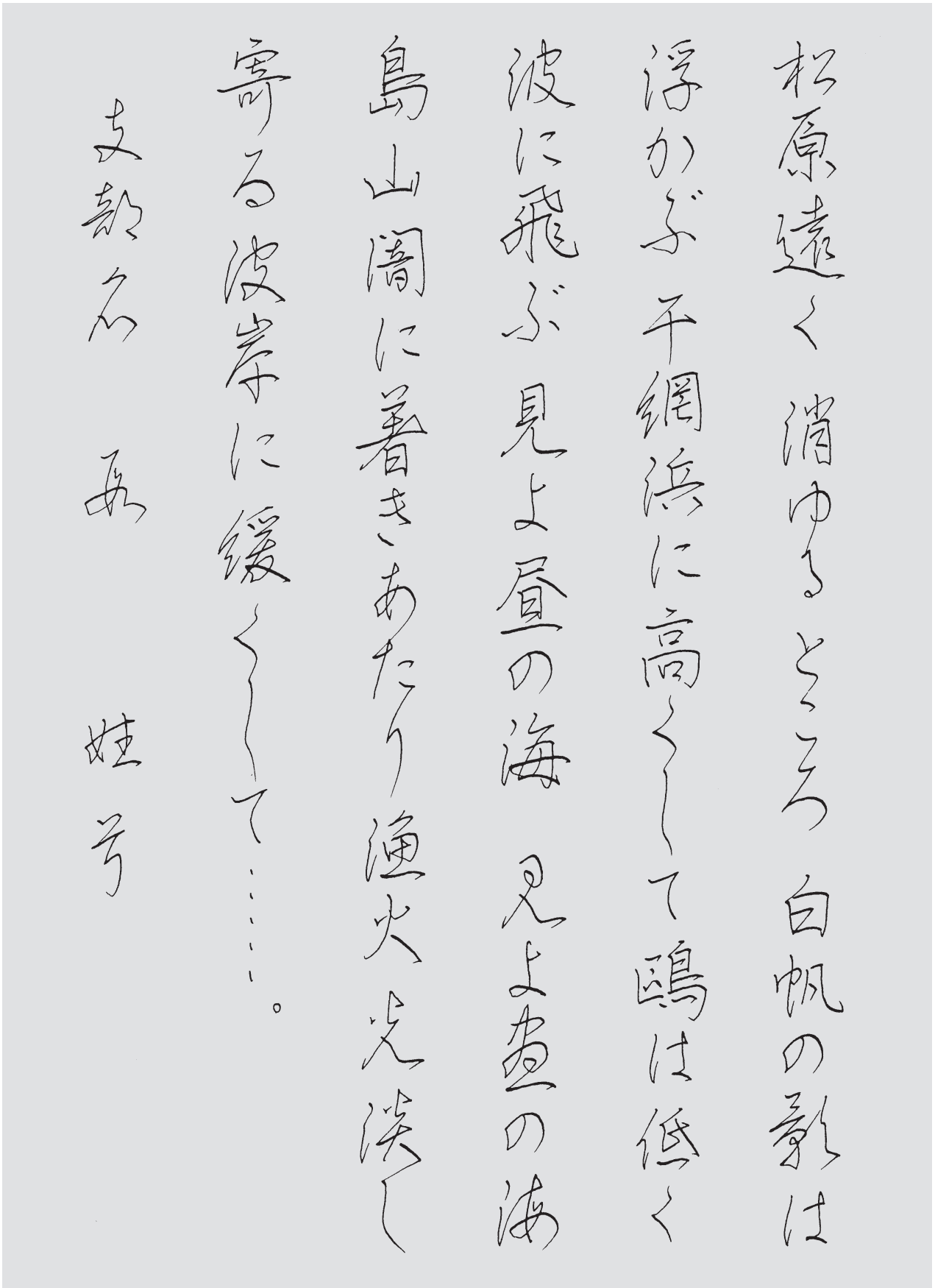
名前は必ず楷書　17cm（よこ）×24cm（たて）

（9月10日締切）

硬筆（初段以上）

本院定型用紙一枚に書く

…見よ昼の海　島山闇に著きあたり漁火光淡し…



青柳江雲先生

（9月10日締切）

硬筆（１級～３級）

人は、「褒められると伸びる」ことが、
科学的にも証明されている。
支部名　級　姓
号

齊藤翡流先生

硬筆（４級以下）

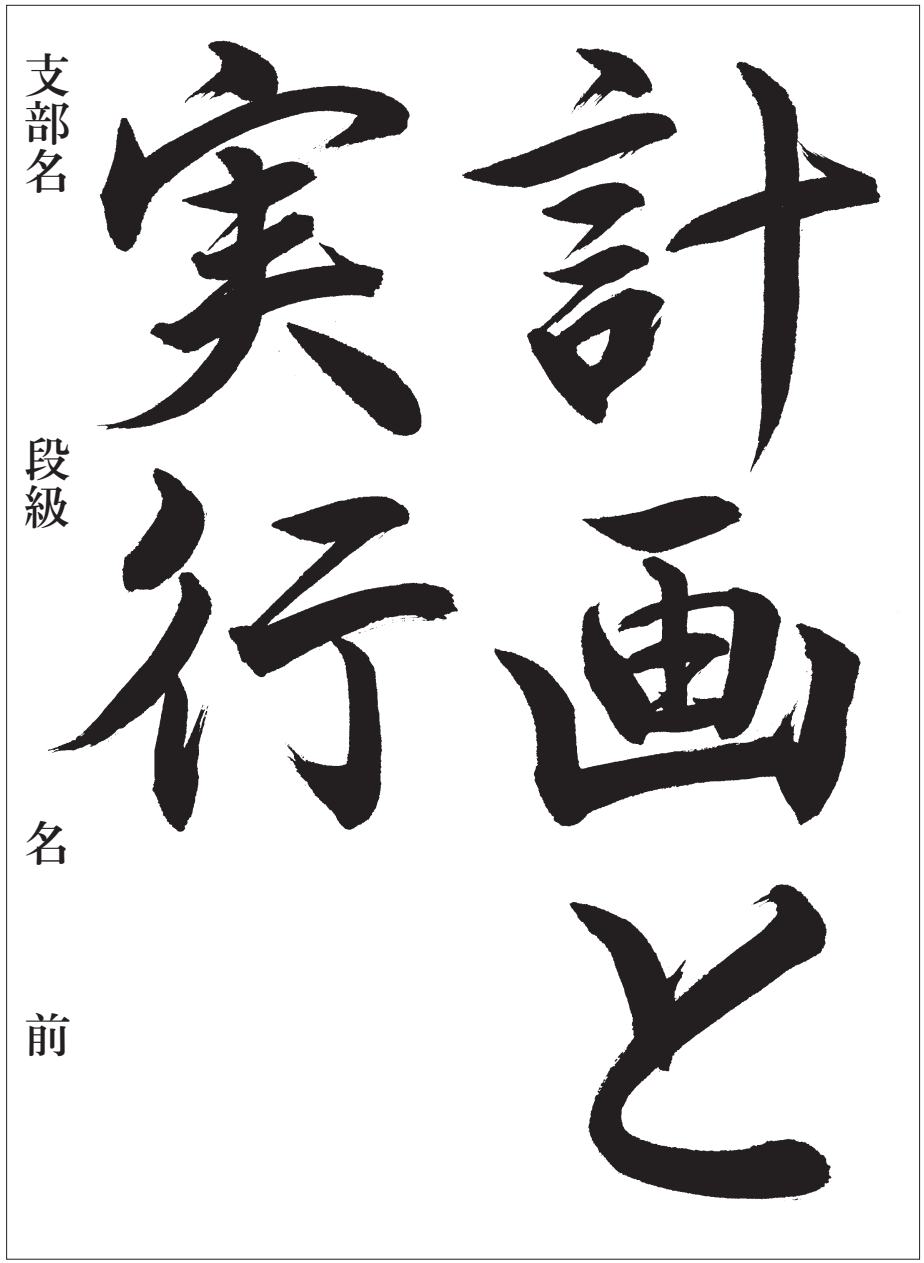
本院定型用紙・たて半分に書く

人は、「褒められると伸びる」ことが、
科学的にも証明されている。
支部名　級　姓
号

齊藤翡流先生

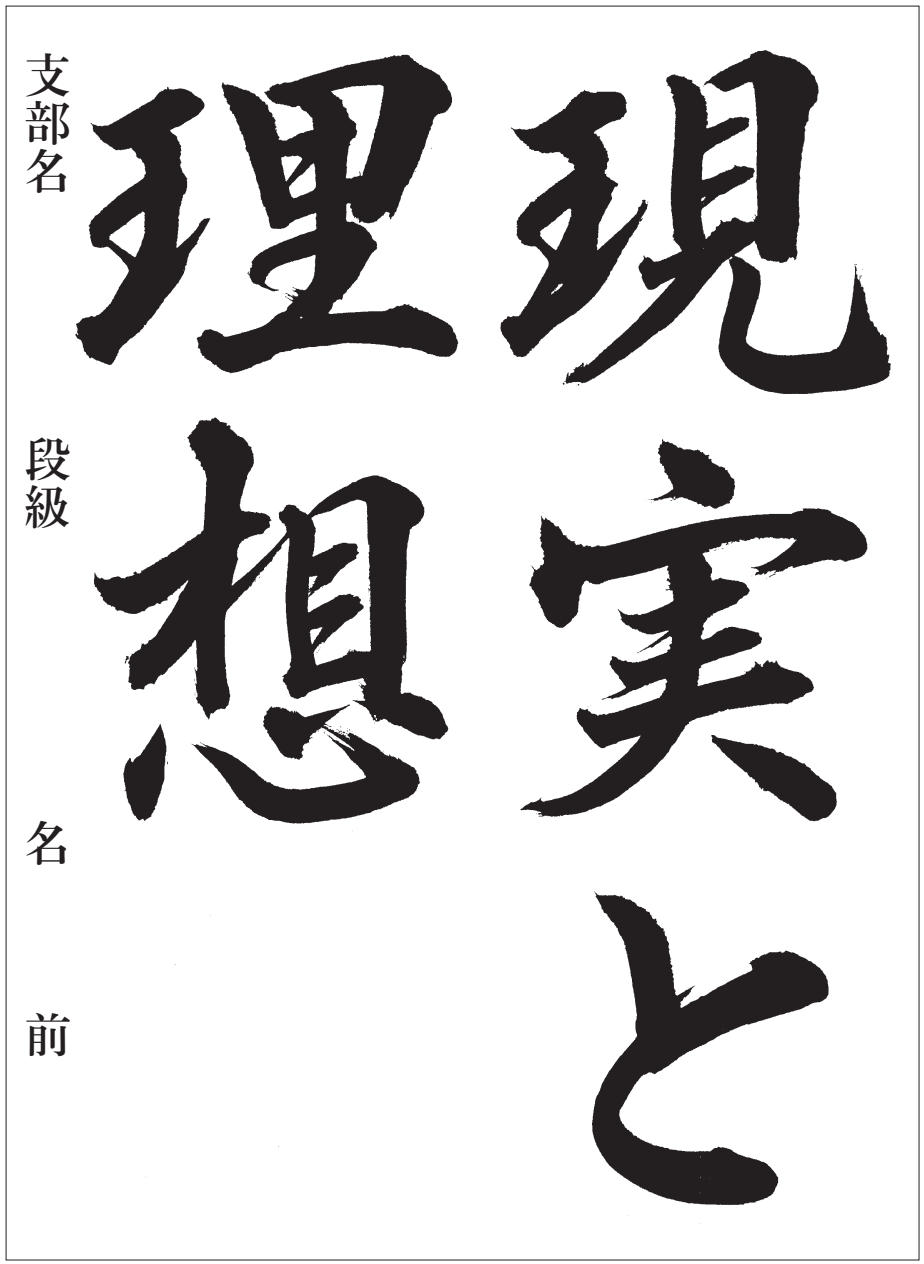
（９月10日締切）

中2用



渡邊南嶂先生

中3用



大越三宗先生

（9月10日締切）

小6用

支部名

段級

名前

渡邊南嶂先生

中1用

支部名

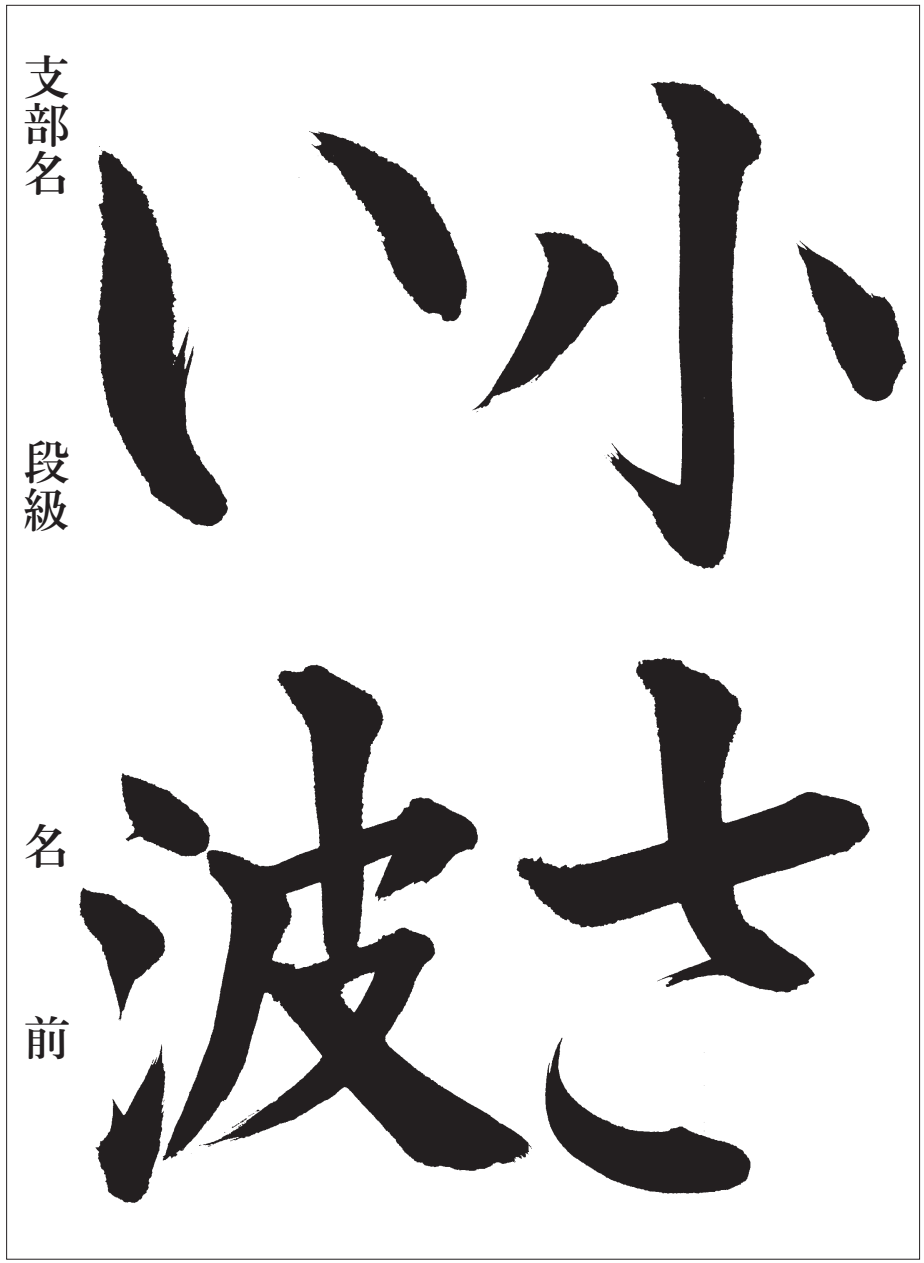
段級

名前

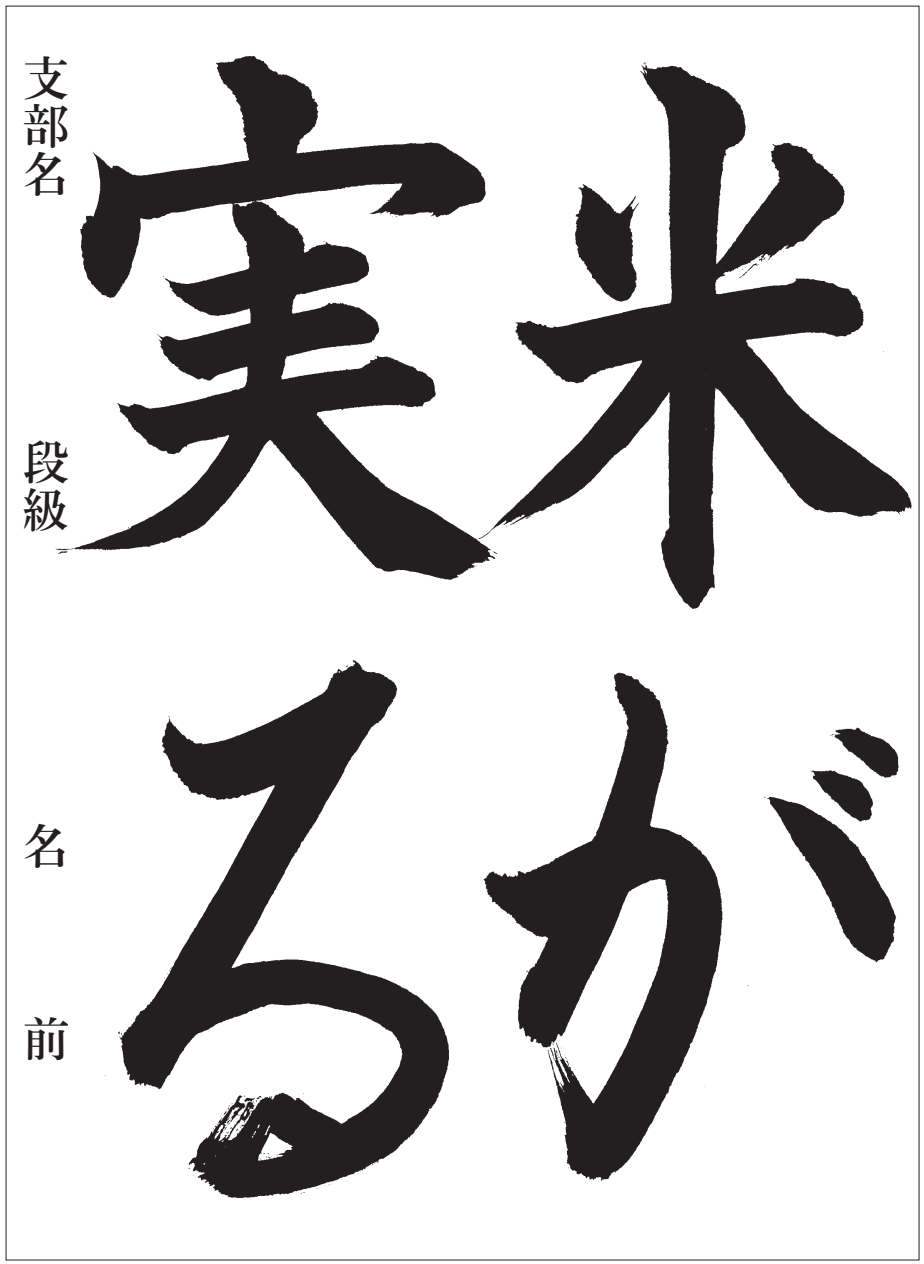
渡邊南嶂先生

（9月10日締切）

小4用



小5用



（9月10日締切）

小2用

支部名

段級

名前

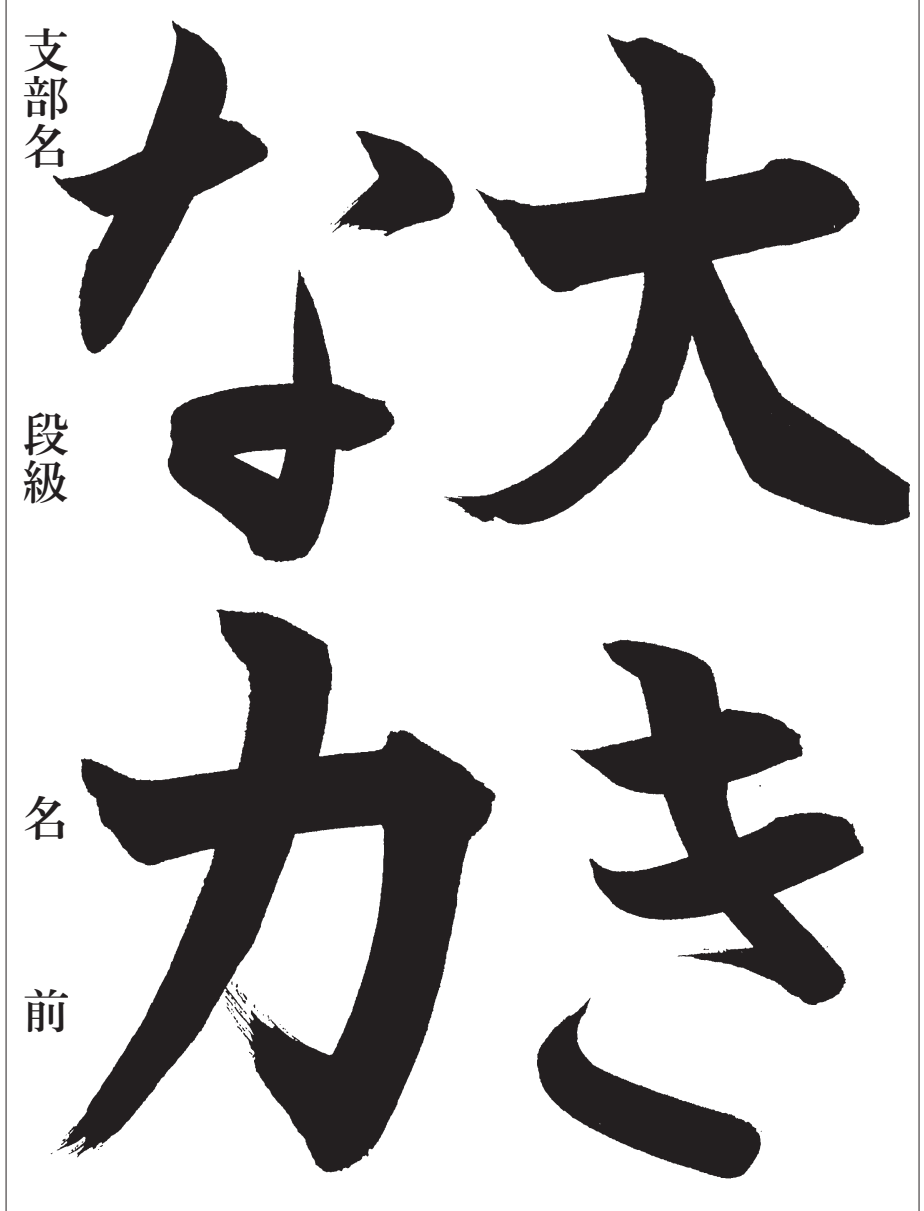
鈴木翡恵先生

小3用

支部名

段級

名前



鈴木翡恵先生

（9月10日締切）

中　1

森の植物は、動物に多くの食物を提供する。

中　2

心が迷うと、物事の判断が正確にできない。

中　3

越後平野は一面、緑色の世界が広がっている。

中1～中3　青　柳　江　雲　先　生

小1・幼年用

支部名

段級

名前

鈴　木　翡　恵　先　生

（9月10日締切）

小1・幼年

みんなで、なかよく、
たいそうをします。

小 2

花子さんと、ゲームを
してあそびました。

小 3

夏には、にわでありの
行れつをよく見る。

小 4

高原の風はもうつめた
くて、秋を感じます。

小 5

風がおだやかで、波の
ない湖面に光が広がる。

小 6

友だちと祭りに参加し
た。作文に書こう。

小1～小3　齊藤翡流先生

小4～小6　鈴木蕙翠先生

（9月10日締切）

中学部かな課題

石も木も
眼にひかるあつさかな

支部名　段級　名前

・半紙の半分に書いて下さい

読み＝石も木も眼にひかるあつさかな
季語＝あつさ
炎天下の石や木が、ぎら〳〵とした陽光を反射して眩しいことだ、の意。夏の暑さを反射光でとらえたのは鋭い感覚である。

主幹　菅野翠濤

（9月10日締切）

小学部小筆課題

海辺の風
ながれ星

支部名　段級　名前

・半紙の半分に書いて下さい

平成25年後期昇段試験要項

本年の講習会はありません

左記により平成25年後期昇段試験を施行いたします。

＊作品締切　・漢字　仮名部　9月14日㈯
　　・実用文　細字　硬筆部　9月28日㈯

◎漢字部　臨書課題

◆A部　六段・五段に応試（用紙・聯落¼つぎ）

楷　書　元楨墓誌銘　P・26参照
行草書　呉昌碩・詩稿　P・26参照
隷　書　乙瑛碑　P・27参照

◆B部　四段・三段に応試（用紙・謙慎サイズ40㎝×160㎝）

楷　書　蘇慈墓誌銘　P・27参照
行草書　黄庭堅・松風閣詩巻　P・28参照
隷　書　曹全碑　P・28参照

◆C部　二段に応試（用紙・半切）

楷　書　欧陽詢・九成宮醴泉銘　P・29参照
行草書　王羲之・集字聖教序　P・29参照
隷　書　曹全碑　P・30参照

◆D部　初段に応試（用紙・半切）

楷　書　欧陽詢・九成宮醴泉銘　P・30参照
行　書　王羲之・蘭亭序　P・31参照

※級から級への受験者はD部に応試のこと。

◎かな部

◆A部　六段・五段に応試

㈠聯落¼つぎ以内「たて」に揮毫
さらでだにあやしきほどの夕暮に荻ふく風の音ぞきこゆる

㈡全懐紙「たて」に揮毫
月かげはおなじ光の秋の夜をわきて見ゆるは心なりけり

㈢古典臨書（揮毫部分は任意）
「小島切」を半紙半分相当（たて）に書く

◆B部　四段・三段に応試

㈠聯落¼つぎ以内「たて」に揮毫
秋の夜に雨ときこえて降るものは風にしたがふ紅葉なりけり

㈡半切½「たて」に揮毫
此道や行人なしに秋の暮

㈢古典臨書（揮毫部分は任意）「関戸本古今集」7～8行相当（たて）に書く

◆C部　二段・初段に応試

㈠半切「たて」に揮毫
木の間より洩り来る月の影見れば心づくしの秋は来にけり

㈡古典臨書（揮毫部分は任意）
「高野切第一種」を4～5行相当（たて）に書く

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

◎実用文

半紙タテ書き。落款は行書又は草書

◆A部（準三段以上に応試）

最近生涯学習という事がしきりに言われているが、近年の急速な社会の変化は人々に常に新しい知識や技術の習得、豊かな教養を身に付ける事の必要を余儀なくさせている。

◆B部（二段以下に応試）

孔子は中国の春秋時代の思想家であり、儒教の祖として彼の理想は「論語」に詳しく語られており、日本にも大きな影響を及ぼした。

◎細字部

半紙横書き、落款は楷書・旧漢字使用

（初段受験の方は楷行草の三体、準二段以上受験の方は楷行草隷の四体を揮毫して下さい。）

横風吹雨入楼斜　壮観応須好句誇

（岩波文庫『中国名詩選　下』P275）

※級から級への受験者は草書までを揮毫のこと。

◎硬筆部

◆A部　六段・五段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

乾隆帝は中国歴代の皇帝の中で最も優れた文化人の一人である。王羲之の名品を蔵した「三希堂」を建てたのを始めとして、伝統的な文化に深い理解を示した。

◆B部　四段～準二段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

落款とは「落成の款識」の意味で、書画の作品に筆者が自署し、雅号等の印を押すものである。

◆C部　初段に応試

本院定型用紙タテ半分に、楷・行別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

今年は例年にない厳しい暑さとか。御自愛お祈り致します。

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

7月号の応試料に一部誤りがありました。お詫び致します。

◎昇段試験　実物大手数料・応試料

科目	種別	六～準五段を受験	四～準三段を受験	二～準二段を受験	初段を受験
漢字	手本料（1書体）	5,000	3,500	2,500	2,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
かな	手本料（1セット）	8,500	7,500	6,000	6,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
硬筆	手本料（3書体）	7,000	6,000		4,500（2書体）
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
実用文	手本料	2,000		1,500	
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
細字	手本料	2,500			2,000
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000

※合格者には段級証明書を発行します。

※手本希望の方は手本代と返送用封筒（切手添付）を同封して直接希望の師範へ依頼して下さい。

※揮毫した師範は一回限り無料添削の義務あるものとし、二回以上添削希望の者はその師範の指示に従って下さい。

※漢字作品出品の際、提出作品を、楷・行草・隷の順に重ね、一番上の作品の左下に鉛筆で支部名・**現在の段級**・姓号を記入して下さい。（仮名作品はそれぞれに鉛筆で記入）

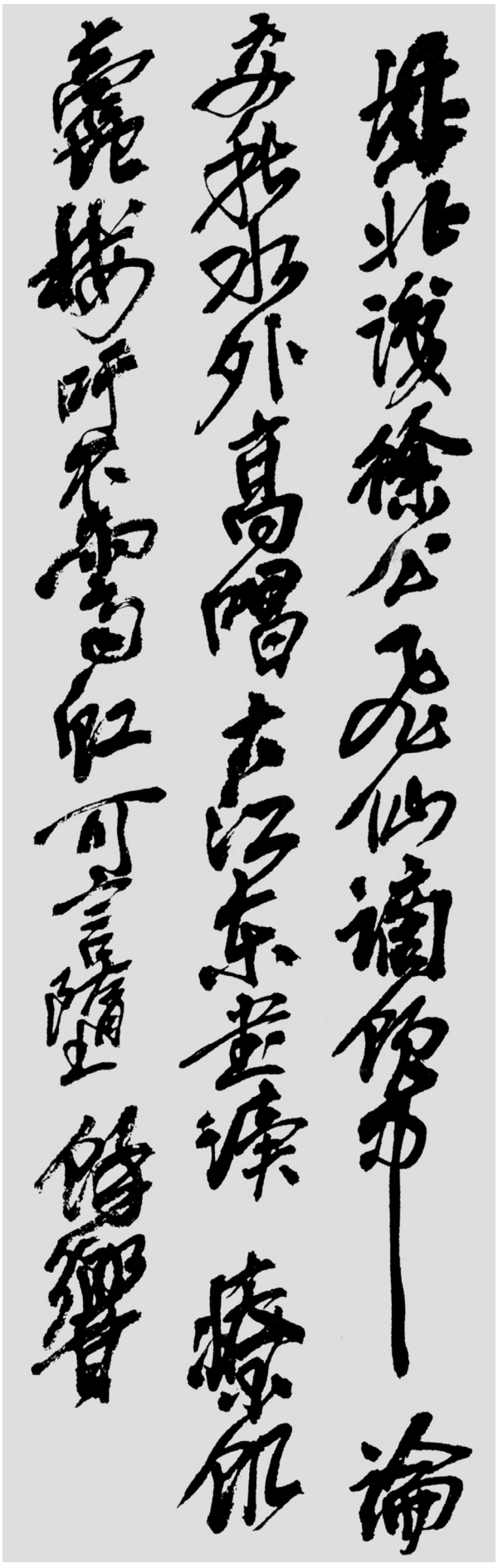
※バーコード出品券だけを一枚貼り付けて下さい。

後期昇段試験課題（六段・五段）

楷書　元楨（てい）墓誌銘（北魏・作者不詳）

旻不錫嘏。景儀墜傾。鑾和歇轡、委櫬窮塋。泉宮永晦。深埏長鉤。敬勒玄瑤。式播徽名。（32字）

中国法書選25　P13～14



行草書　呉昌碩詩稿（清・呉昌碩）

城北識徐公。飛仙謫飲中。論交秋水外。高唱大江東。書讀療飢蠹。梅吁不霽虹。可言墮餘響。（35字）

中国法書選60　P66

後期昇段試験課題

（六段・五段）

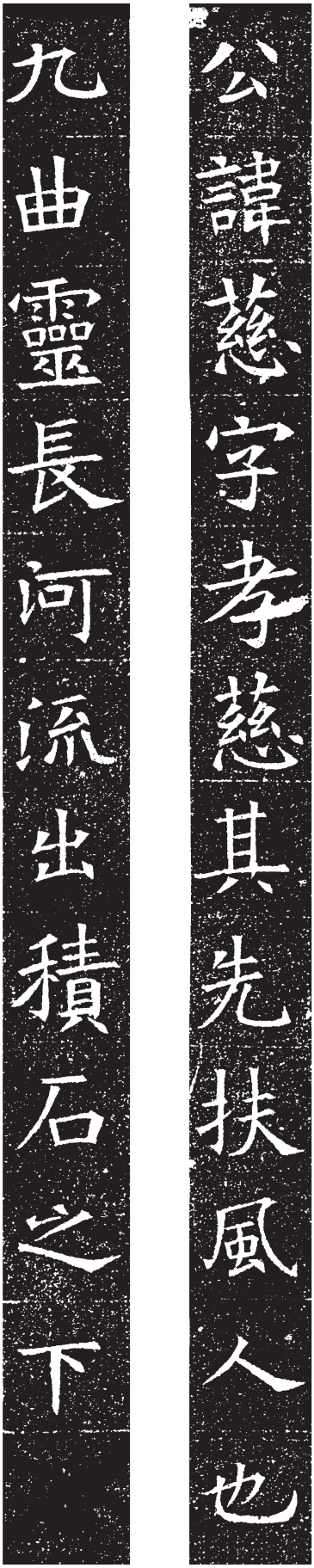
隷書　乙瑛碑（後漢・作者不詳）

一人。典主守廟。春秋饗禮。財出王家錢。給犬酒直。須報。謹問大常。祠曹掾馮牟史郭玄。（33字）

中国法書選4　P7～9

（四段・三段）

楷書　蘇慈墓誌銘（隋・作者不詳）

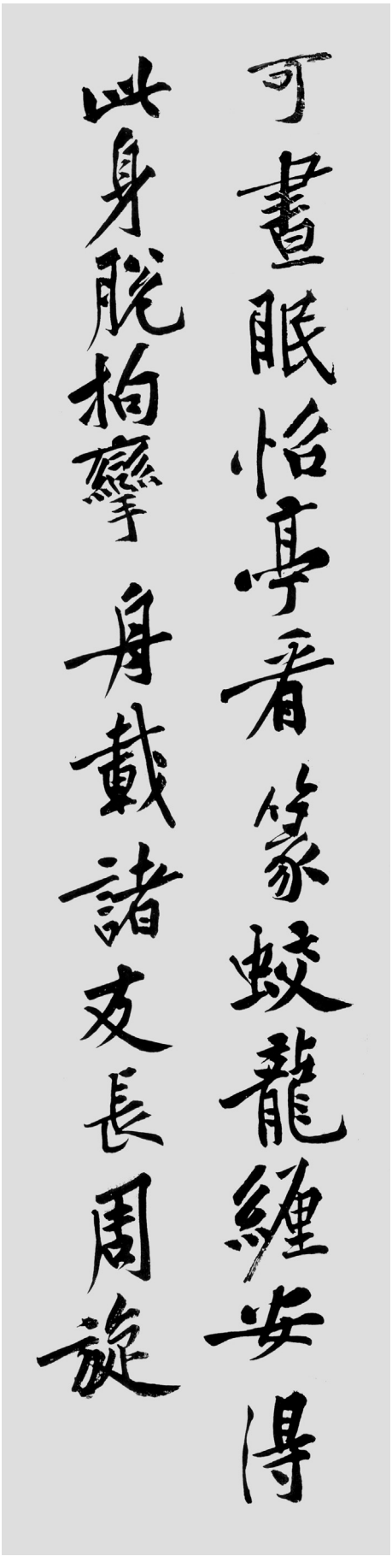


公諱慈。字孝慈。其先扶風人也。九曲靈長。河流出積石之下。（23字）

中国法書選26　P51

後期昇段試験課題（四段・三段）

行草書　松風閣詩巻（宋・黄庭堅）



可畫眠　怡亭看篆蛟龍纏　安得此身脫拘攣　舟載諸友長周旋（24字）

中国法書選47　P12～14

隷書　曹全碑（後漢・作者不詳）

主薄王歷戶曹掾秦尚功曹史王顓等嘉慕奚斯考甫之美乃（24字）

中国法書選8　P28

後期昇段試験課題（二段）

楷書　九成宮醴泉銘（唐・欧陽詢）

同堯肌之如腊甚禹足之胼胝針石屬加腠理（18字）

中国法書選31　P12・13

行草書　集字聖教序（東晋・王羲之）

空外迷天萬里山川攙煙霞而進影百重寒暑（18字）

中国法書選16　P11

後期昇段試験課題

（二　段）

隷書　曹全碑（後漢）

北地大守父琫少貫名州郡不牽早世是以位（18字）

中国法書選8　P8

（初　段）

楷書　九成宮醴泉銘（唐・欧陽詢）

九成之宮此則隨之仁壽宮也冠山抗殿（16字）

中国法書選31　P5

後期昇段試験課題（初段）

行書　蘭亭序（東晋・王羲之）

永和九年歳在癸丑暮春之初會于會稽（16字）

中国法書選15　P14

北日本書芸院取扱商品

区分	商　品		販売価格	摘　要
本	高須翠雲編書「点画と結構」		¥1,500	書道の基本勉強に役立ちます
	高須翠雲編書「五体昭和千字文」		¥2,500	「細字」課題の原本
紙　漢字用（かな用は取扱っておりません）	半紙　手漉（500枚）	¥3,000	¥3,000	
	半切（100枚）	¥5,500	¥5,500	
	謙慎判（50枚）	¥5,000	¥5,000	昇試、謙慎展用
	聯落¼継（50枚）	¥7,500	¥7,500	昇試用
	聯落 8 尺版（50枚）	¥8,500	¥8,500	県展、読売展用
墨	墨液 180cc	¥262	¥250	
	墨液 450cc	¥525	¥400	
	墨液（濃墨）450cc	¥735	¥550	
	墨液 1800cc	¥1,890	¥1,500	
	作品用（濃墨）	¥1,800	¥1,600	中央展他各種展覧会に対応
筆	換鵞	¥1,500	¥1,400	漢字用
	特選　換鵞	¥2,000	¥1,800	漢字用
	翠　雲	¥3,000	¥2,500	漢字用
	小筆　換鵞	¥1,100	¥800	細字・実用文に最適です

※送料は別途かかります。

10月10日　締切課題 兼 学生部昇試課題予告

ＡＢ部条幅規定

聲月上霞舒與璇題而並色仙花祕草冬夏開

Ｃ部条幅規定

福而長今妙道凝玄邃之莫知其際法流湛

かな条幅規定

和田（わた）の原八重のしほぢに飛ぶ雁（かり）の
つばさのなみに秋風ぞ吹く（源実朝）

半紙規定（初段以上）

事継母
先意

かな（初段以上）

松のねに
風のしらべを
任せては
立田姫（たつたひめ）こそ
秋はひくらし
（壬生忠岑）

半紙規定（１級以下）

太子率
更令

かな（１級以下）

秋涼し
手毎にむけや
瓜茄子
（松尾芭蕉）

中３　芸術の世界

中２　秋の夕暮れ

中１　京都の名所

小６　星の研究

小５　台風の目

小４　日本ばれ

小３　虫がめね

小２　コアラ

小１　いぬ

中学部かな

コスモスを
はなれし蝶に
谷ふかし

小学部小筆

秋の田に
黄金の波

中３硬筆

世界の多数の国が、国連に加盟している。

中２硬筆

公衆道徳を守れば、住みよい社会になる。

中１硬筆

議長には、議事の進行をはかる権限がある。

小６硬筆

海面に月がうつり、美しい金色の光が流れる。

小５硬筆

秋分の日は、昼と夜の長さが、等しくなる。

小４硬筆

秋分の日をさかいに、夜がだんだん長くなる。

小３硬筆

大きな石をひっくりかえしたら、虫が出た。

小２硬筆

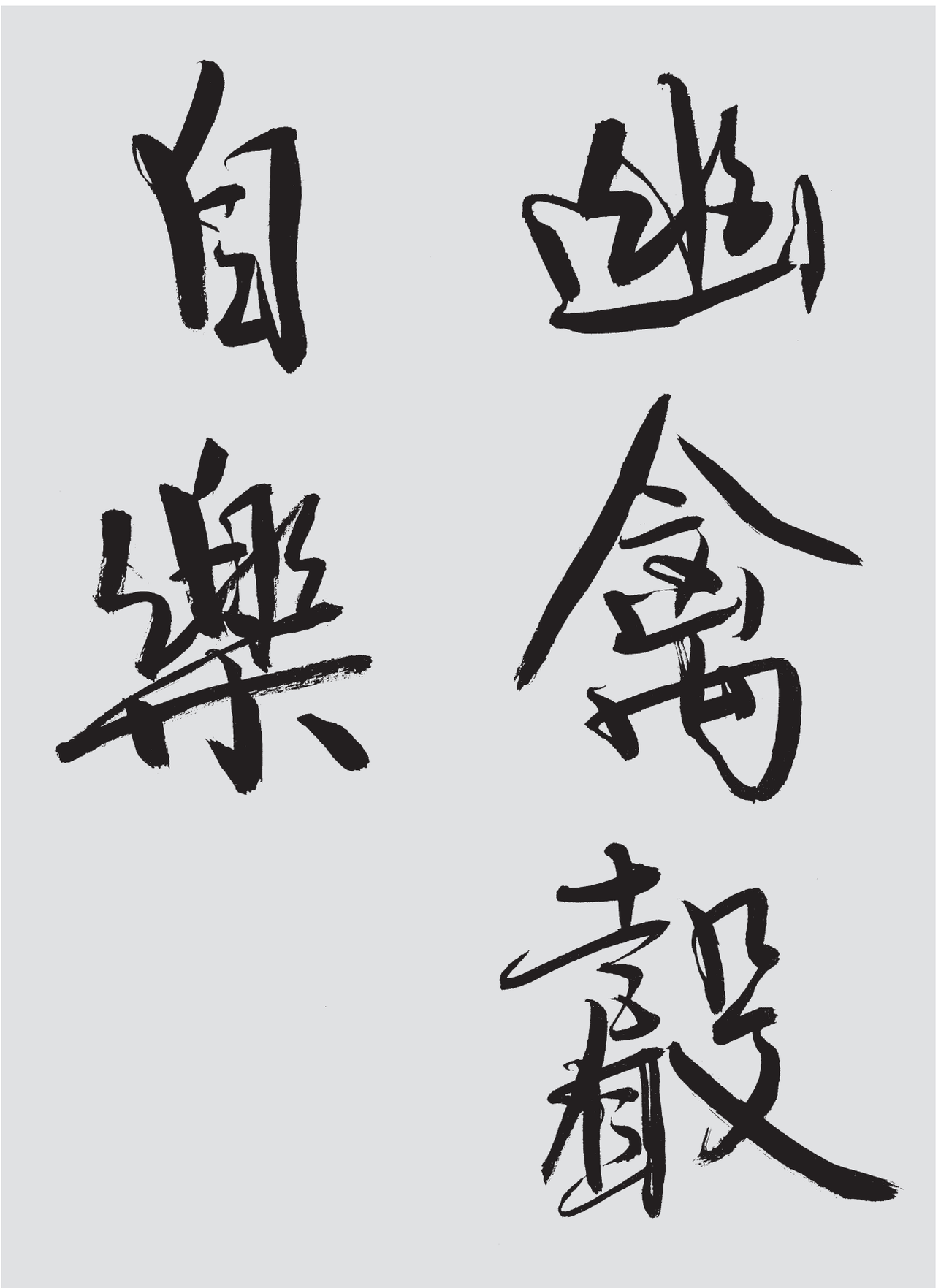
よ空に、月があかるくかがやいています。

小１硬筆

ほしがよぞらに、ひかっています。

参　考　手　本

幽禽の聲、自ずから楽し



成瀬映山先生書